ちほめんNEWS

2019.3.18　近畿財務局京都財務事務所　VOL. 3 1

京都産業大学でちほめんの活動について出前講座を実施！

～「地域のつなぎ役」になれることをＰＲ～

平成31年1月10日（木）実施
対象：経済学部 菅原宏太教授のゼミ生25名

今回の取組のポイント

○地方創生に興味を持つ学生に対し、当局の取組を紹介し、**「地域のつなぎ役」になれることをPR**。
○当局の取組事例を通じて、各学生の**今後の研究に役立ててもらう**。
○この講座をきっかけとし、当局と**大学や地方創生に興味を持つ学生との連携**を深める。

きっかけ

○京都財務事務所では、平成28年から京都産業大学で「日本の財政の現状」に関する出前講座を行ってきました。

○その講座を担当していた菅原教授から、「**地方創生に興味を持っているゼミ生が多い**ため、**財務局HPに掲載されているような地方創生支援の取組**をゼミで紹介してほしい」との要望がありました。

菅原宏太教授

○当事務所では、これまで**ちほめんの活動を学生に向けて紹介したことがなかったため、大学や地方創生に興味を持つ学生との連携につなげる貴重な機会**と考えました。

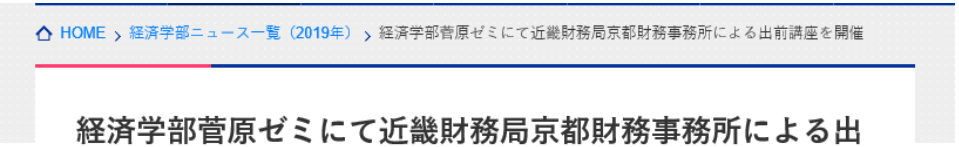
実施に向けて

○学生にとって、できる限り役に立つ情報を提供しようと考えました。
○そこで、①**当事務所の直近の取組事例**のほか、②地域に寄り添い、**複数年にわたって継続的に取り組んでいる管内事例**を紹介するとともに、③学生と年齢が近い**若手のちほめんから、現場での活躍ぶり**を報告してもらうことにしました。

当日の模様

◆ 京都ちほめんで企画した①**「若手・学生ベンチャーの活性化支援」**、②**「美しい村連合加盟町村間の連携支援」**のほか、局で継続的に進めてきた③**「サイクリング観光をテーマにした連携支援（淡路島、琵琶湖周辺自治体）」**について、『地域のつなぎ役』としていかに財務局が関わってきたかの経緯を丁寧に説明！

◆ 京都の若手職員の代表として、本来業務だけではなく、ちほめんや広報活動に幅広く活躍する魚田事務官が、「若手でも企画提案・参画でき、やりがいを感じる」など、**ちほめんの取組に参加した感想**について熱く語りました。



経済学部菅原ゼミにて近畿財務局京都財務事務所による出前講座を開催

2019.01.10　TAG: トピックス　ゼミ　経済学部

2019年1月10日、経済学部菅原ゼミにて、近畿財務局および京都財務事務所の地方創生支援事業についての出前講座が開催されました。

当日は、近畿財務局管内の若手職員で結成された「TEAMちほめん」による地方創生支援事業として、若手・学生ベンチャーの活性化支援（京都高度技術研究所との共催）、美しい村連合加盟町村間の連携支援、サイクリング観光をテーマにした連携支援（淡路島、琵琶湖周辺自治体）の3つの事例を紹介していただきました。

https://www.kyoto-su.ac.jp/news/20190117_120_sugaharademae.html

- 今日の講座を聞いて、地域を活性化させようとしているのは県庁や府庁だけでなく財務局なども関わっていることを知って驚きました。
- 財務局、財務事務所の方の仕事は思っていたよりも仕事範囲が広く驚いた。「ちほめん」という若い人の意見、アイデアを沢山取り入れたプロジェクトが素敵だと思った。
- 財務省は固いイメージがあったが、様々な取り組みを行っていることを知れて良かった。公務員志望ではなかったが、公務員についても考えてみる良いきっかけになった。
- 地域活性化のために"ちほめん"という団体がいることを初めて知りました。若手の職員さんが上司からの指示なしで意見の出し合いなどをするため、若い世代の人たちが参加しやすい案なども出て来るんだなと思いました。

◆ 京都産業大学のHPにて当講座の内容と聴講学生の声が紹介されました。